

学位論文の要旨

氏名 沼 慎一郎

[題名]

角膜ジストロフィのレーザー角膜切除術（PTK）と白内障手術の視力向上への有効性の検討

[要旨]

[目的] 角膜ジストロフィは加齢と共に進行し角膜に混濁を来す。白内障も加齢に伴い進行し視力障害を来す。それ故、角膜ジストロフィと白内障の両方が治療対象となる。角膜ジストロフィの治療としては、角膜混濁を軽減するためにエキシマレーザーによる角膜切除術（Phototherapeutic Keratectomy：PTK）を行うことがある。角膜混濁を伴った白内障手術では術中の視認性の確保が困難となる場合が多く、角膜混濁を軽減するために治療的PTKを術前に施行する場合がある。そこでPTKをおこなった角膜ジストロフィ症例における白内障手術施行の有無での治療成績や有用性、合併症に関して検討を行った。

[症例および方法] 対象は角膜ジストロフィと確定診断された患者の中でPTKを施行した32例50眼を対象とした。経過中にPTKのみをおこなった群とPTK後に白内障手術を施行した群に分けそれぞれの性別、年齢、術前術後視力、術後合併症、追加のPTKの有無を検討した。

[結果] 経過中にPTKのみを施行した群は14例18眼、年齢44～84歳（平均 62.9 ± 13.7 歳）であった。平均視力は術前0.31から術後0.67に改善し（ $p < 0.01$ ）、2段階以上視力改善は18眼中14眼（77.8%）であった。再度PTKを施行した症例は5眼（27.8%）であった。PTKを施行した後に白内障を施行した群は21例32眼、年齢は42～84（平均 68.2 ± 9.2 歳）であった。PTK前後での平均視力は術前0.26から術後0.46に改善し（ $p < 0.01$ ）、2段階以上の視力改善は32眼中20眼（62.5%）であった。白内障術後では平均視力は0.58に改善した。再度PTKを施行した症例は4眼（12.5%）であった。またPTKから白内障手術を行うまでの平均期間は 4.4 ± 2.6 ヶ月（1～17ヶ月）であった。

[考察] 角膜ジストロフィなどの角膜混濁を有する患者において、視力改善のためにPTKは有用であり、また白内障も有する場合は視力改善のみならず安全に白内障手術を行うために、PTKを行い角膜表層の混濁を除去、軽減はきわめて重要であると考えられる。

学位論文審査の結果の要旨

報告番号	乙 第 1065 号	氏 名	沼 慎一郎
論文審査担当者	主査教授	山下 裕司	
	副査教授	武 藤 正 彦	
	副査教授	岡 田 康 平	
学位論文題目名 (題目名が英文の場合、行を変えて和訳を括弧書きで記載する。) 角膜ジストロフィのレーザー角膜切除術 (PTK) と白内障手術の視力向上への有効性の検討			
学位論文の関連論文題目名 (題目名が英文の場合、行を変えて和訳を括弧書きで記載する。) 角膜ジストロフィのレーザー角膜切除術 (PTK) と白内障手術の視力向上への有効性の検討 掲載雑誌名 山口医学 第61巻1・2合併号 (平成24年5月掲載)			
(論文審査の要旨)			
<p>視力が低下した角膜ジストロフィ症例に対して PTK 単独あるいは、PTK と白内障手術を施行し、視力回復の程度と合併症の有無を評価し、おのおのの治療方法の有用性を検討した。PTK のみを施行した群は、PTK により良好な視力向上を認めた。</p> <p>PTK を施行した後に白内障手術を施行した群では、PTK、白内障手術それぞれ単独でも視力改善への効果を認めたが、PTK 後に白内障手術を施行した視力改善の割合は、白内障手術よりも PTK での効果が強いことが明らかになった。このことから、白内障を有する角膜ジストロフィでは視力低下の原因は、水晶体の混濁よりも角膜混濁による影響の方が大きいことが示唆され、PTK 後に白内障手術を施行するケースでは、PTK の手術効果及び精度向上が術後の視力改善に大きな影響きたすと考えられた。</p> <p>視力が低下した角膜ジストロフィ症例では、視力低下の原因として角膜ジストロフィと白内障の両方で治療が必要なことがある。PTK が施行される以前は角膜移植術を施行し、角膜移植と同時にあるいは視認性をあげた後に白内障手術を施行していた。角膜ジストロフィに対する PTK 後の白内障手術では、角膜の形状変化、菲薄化および角膜混濁の残存が術中視認性に影響を及ぼす。今回角膜ジストロフィに対する PTK 後の白内障手術は、全例で超音波乳化吸引術を施行することができ、視認性が原因での術中術後合併症は認めなかった。このことから、PTK は角膜移植に劣ることなく、角膜ジストロフィに対する白内障手術を安全に行うことを可能にする術式であることが今回の検討で明らかになった。</p> <p>本論文は、角膜ジストロフィ症例に対して PTK と白内障手術の有用性について研究したものである。白内障を有する角膜ジストロフィの手術治療の視力改善の予測と安全性の担保に寄与するものであり、学位論文として価値あるものと認める。</p>			
備考 審査の要旨は800字以内とすること。			